

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年2月14日(2024.2.14)

【公開番号】特開2022-74840(P2022-74840A)  
 【公開日】令和4年5月18日(2022.5.18)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-087  
 【出願番号】特願2020-185228(P2020-185228)  
 【国際特許分類】  
 A 6 3 F 7/02(2006.01)  
 【FI】  
 A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和6年2月5日(2024.2.5)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

判定条件の成立に基づいて、遊技者に有利な遊技が実行される遊技状態に移行させるか否かの移行判定を行う移行判定手段と、

遊技球の入球に基づいて前記判定条件を成立させる契機となる所定の入賞口と、

前記移行判定手段による前記移行判定の結果を報知するための報知遊技を実行する報知遊技実行手段と、

前記報知遊技を表示する表示手段と、

を備えた遊技機であって、

前記所定の入賞口は、

第1入賞口と、

遊技球の入球が許容される許容状態と、遊技球の入球が制限される制限状態との切り替えが可能で、前記第1入賞口とは異なる第2入賞口と、を含み、

前記報知遊技は、

前記第1入賞口への遊技球の入球を契機として実行される第1報知遊技と、

前記第2入賞口への遊技球の入球を契機として実行される第2報知遊技と、を含み、

本遊技機は、

少なくとも前記1入賞口に入球したが未だ前記第1報知遊技が実行されていない保留状態の入球を示す表示体であって前記遊技状態の移行の期待度を示唆可能な保留演出情報を所定の上限数まで表示可能な保留演出情報表示手段と、

40

少なくとも連続して表示される複数回の前記第1報知遊技において、前記保留演出情報とは異なる所定の示唆情報を表示する示唆情報表示を実行可能な示唆情報表示手段と、

特定条件の成立に基づいて前記第2入賞口が所定の前記許容状態とされる特定遊技状態を発生可能な特定遊技状態発生手段と、

を備え、

前記特定遊技状態発生手段は、前記特定遊技状態を実行する場合に、第1期間の前記許容状態を発生させ得る第1制御状態、又は前記第1期間よりも長期間である第2期間の前記許容状態を発生させ得る第2制御状態で前記特定遊技状態を実行し得るよう構成され、

本遊技機は、

前記示唆情報表示の実行中における前記第2制御状態において前記第2入賞口に遊技球

50

が入球した場合は、実行される前記第2報知遊技に対応して特定演出画像を表示させ、少なくとも前記第2報知遊技において前記特定演出画像が表示される間、前記所定の示唆情報を前記特定演出画像と併せて表示させ得るよう構成され、前記第1制御状態において前記第2入賞口への遊技球の所定の入球が発生した場合は、前記特定演出画像を表示させることがないようにかつ前記所定の示唆情報を表示させ得るよう構成されたことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50